

2020 年度

年間授業計画表（星翔高等学校）

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	全科共通		保健	2	
担当者(担当クラス)					
この科目を履修するための条件や準備					
保健の教科書・ノート・日常からの保健に対する留意すること。筆記用具・予習、復習					
この科目のねらい 目標					
「健康」はいかに自分らしく、よりよく充実した生活を送るための重要な土台となる。健康を保持増進するために教育面、環境面の支援を組み合わせさせておこなうヘルスプロモーションが重要なことを理解する。また、実生活と照らし合わせながら学び、生涯を通じて、健康を自ら考え、適切に意志決定、行動選択ができるようにする。「一人一人がたった一回限りの貴重な人生を今生きている」ということを理解し、自分や他人の生命や生活を心から尊重し、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につける。					
具体的な指導方法					
①健康・安全に関心を持つことができる。真摯な姿勢で授業にのぞみ、ノートをとり自らまとめる事ができる。 ②学習内容に対して常に疑問を持ち、日常生活に照らし合わせ自ら考え選択することができる。 ③積極的に質問や発言をすることができる。また自分やクラスメイトの意見を尊重して保健に向き合うことができる。 ④保健を身近な問題としてとらえ、正しい知識を持ち、実践することができる。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
現代高等保健体育 改訂版 304（大修館書）			現代高等保健体育ノート改訂版 304（大修館書店）		
評価方法					
学期ごと2回の試験(中間・期末)・学習意欲・態度・保健ノート提出					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで 課題をプリント等で配布					
II. 1学期期末考査まで 単元1～11までを出来るだけ授業内で実施。期末考査後の補充授業まで実施する。					
III. 2学期中間考査まで 12. 現代の感染症 13. 感染症の予防 14. 性感染症・エイズとその予防 15. 欲求と適応機制					
IV. 2学期期末考査まで 16. 心身の相関とストレス 17. ストレスへの対処 18. 心の健康と自己実現					
V. 学年末考査まで 19. 交通事故の現状と要因 20. 交通社会における運転者の資質と責任 21. 安全な交通社会づくり 22. 応急手当の意義とその基本 23. 心肺蘇生法 24. 日常的な応急手当					